



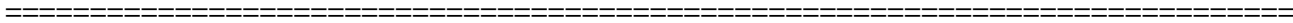
《目次》

◆お知らせ/イベント情報など

- ・ 【お知らせ】新卒採用情報「インターンシップ情報」を公開しました

◆その他

- ・ 【NUMO MOVIE】海外の地下研究施設
- ・ 【NUMOコラム】放射線の測定
- ・ 【よくあるご質問】文献調査とは何ですか？ また、具体的な内容はどんなものですか？



◆お知らせ/イベント情報など

- 【お知らせ】新卒採用情報「インターンシップ情報」を公開しました

NUMOでは、学生の皆さまを対象としたインターンシップを行います。

地層処分事業を通じて社会的課題を解決する。そんなNUMOの事業を体験する5日間のプログラムです。実際に職員が行っている仕事を体験いただき、個人やグループで課題に取り組んでいただきます。課題ごとに担当する部署の職員が学生の皆さまをサポートします。担当する職員と本音で語り合う場もご用意しております。ご応募お待ちしております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため全てのプログラムについてウェブ（オンライン）で実施します。

開催日時(5日間コース): 2020年9月14日(月)～18日(金)

各日とも 10:30～12:00、13:30～16:30

応募締切: 2020年8月31日(月) 23:59

▽インターンシップの詳細はこちら

<https://www.numo.or.jp/recruit/internship.html>

◆その他

【NUMO MOVIE】海外の地下研究施設

人による能動的な安全管理を必要としない地下深部の安定した岩盤へ処分する「地層処分」が適切であるということは、国際的にも共通した考えです。海外の多くの国でも、技術開発・調査研究の場として地下研究施設が活用されています。

▽動画はこちら（2017年制作）

<https://www.youtube.com/watch?v=IDwB5werki0>

【NUMOコラム】放射線の測定

皆さんは放射線をご存じでしょうか。

放射線とは、高速で流れる原子や電子レベルの大きさの粒子（ α 線、 β 線など）や、高いエネルギーを持った電磁波（ γ 線など）のことです。放射線そのものを目で見ることはできませんが、放射線が通った痕跡を見たり、どの程度の放射線が存在しているかを見ることはできます。

例えば、19世紀末に発明された「霧箱」を使えば、放射線が通った痕跡を観察することができます。霧箱は密閉した箱の中を水やアルコールの蒸気で満たしたもので、作るにはある程度の知識が必要ですが、箱の中を通過した放射線が飛行機雲のような白い跡を残します。

また現代では、放射線の量がどれだけあるかを測定する機器があります。それが「電離箱式サーベイメータ」や「シンチレーション式サーベイメータ」といった、少し専門的な名前の測定器です。

「電離箱式サーベイメータ」は、放射線が気体中を通ると、そのエネルギーによって気体の分子がプラスに帯電した陽イオンとマイナスに帯電した電子に分かれるため、そのイオンと電子を検知することで放射線の量を測定するものです。また、「シンチレーション式サーベイメータ」は、放射線によって発光する物質（シンチレータといいます）を利用し、放射線が通過する際の発光の強さを検知することで放射線の量を測定するものです。

目に見えない放射線であっても、このような測定器を使用することで、その周辺の放射線の量が適切に管理されているかどうか確認することができます。高レベル放射性廃棄物の地層処分においても、閉鎖前においては、地上施設やその周辺及び地下施設内の廃棄体搬送ルートに沿って、放射線の量を常時監視して遮蔽の安全対策が有効にはたっていることを確認することで、地上及び地下の環境保全を確実に行っていくこととしています。閉鎖後においては、一定期間、地表付近の跡地において、社会要求に応える放射線量の測定がなされる可能性があります。

【よくあるご質問】

NUMOホームページに掲載している「よくあるご質問」をピックアップし、紹介します。

今回は・・・

Q.

文献調査とは何ですか？ また、具体的な内容はどんなものですか？

A.

NUMOが行う文献調査は、全国規模の文献・データに加え、地域固有の文献・データを机上で調査するものです。地層処分に関心を示していただいた地域の皆さまに、事業をさらに深く知っていただくとともに、更なる調査（概要調査）を実施するかどうかを検討していただくための材料を集める事前調査的な位置づけです。

調査の開始にあたっては、市町村からNUMOへご応募いただく場合と、国からの申入れを市町村に受諾いただく場合があります。

調査内容は、まず、地域別に整備されている地質図などの文献・データ、地質などに関する学术论文などを収集し、情報を整理します。それらの情報をもとに、地層の著しい変動（火山・火成活動、断層活動、隆起・侵食などによるもの）がないこと、最終処分を行おうとする地層に有用な鉱物資源がないこと、地下施設の建設が困難となるような強度の弱い地層がないことなど、施設建設地としての不適切な地層状況がないかを確認します。

文献調査を通じて、地域で議論を深めていただいた上で、その後の概要調査や精密調査を行う地区、および施設建設地を選定しようとする際には、その都度地域の意見を聴き、反対の場合は次の調査には進みません。

詳しい内容は、以下のパンフレットをご覧ください。

▽地層処分に関する文献調査について

https://www.numo.or.jp/government/oubo/pdf/literature_survey_20200117.pdf

▽「よくあるご質問」はこちら

https://www.numo.or.jp/q_and_a/

☆NUMOメールマガジンのご感想やご意見をお待ちしております

webmaster@numo.or.jp までどうぞ！

NUMOホームページ： <https://www.numo.or.jp/>

YouTube : <https://www.youtube.com/ChannelNUMO/>

Facebook : <https://www.facebook.com/numojp/>

Instagram : <https://www.instagram.com/numo.jp/>

メールマガジン解除は「メルマガ解除」と件名記載のうえ下記アドレスへご連絡ください

webmaster@numo.or.jp
